

第 X 章

マンガフォーマット

ここでは記述ルールをまとめます

マンガ組み合わせ例



コマ幅の指定

省略時デフォルト幅



省略時デフォルト幅



fslim



fwide



ffull



マンガコマ表記の基本形

@雪 「kohon fslim

セリフ

@」

@アリス 「doya fslim

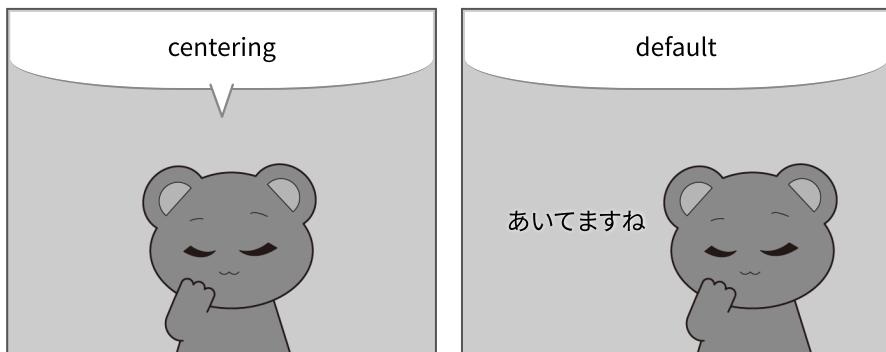
セリフ

@」

以降も含めて@はすべて半角です。

背景と中央揃え

無指定の場合、アリスは左、雪は右に寄ります。centering指定で中央に寄せることができます（基本fwideと組み合わせて使います）



@雪 「kohon fwide centering back000

セリフ

#心の声

@」

心の声は空きがさみしいときに使います。

マンガ全体の囲み

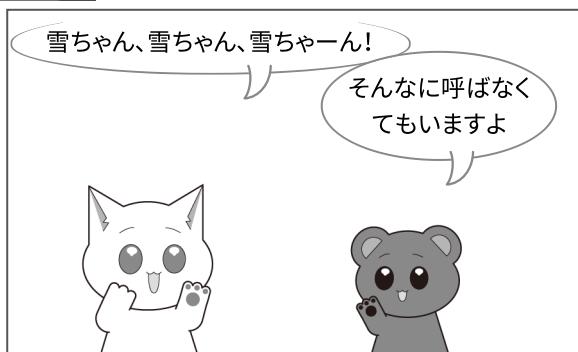
マンガ全体の囲み（@div:container～@divend）は、css flexboxを使ってコマを横に並べるために使います。これで囲まない場合、コマは通常の文章や画像などと同じく縦に並びます。@div:containerは4つ以上の半角=で代用できます。

=====

マンガコマの指定を並べる

@divend

特殊なパターン（章冒頭に置くスタートコマ）



@「starting fwide
雪ちゃん、雪ちゃん、雪ちゃーん！

#そんなに呼ばなく

てもいますよ
@」

特殊なパターン（フルサイズで1画面に2人）

@fleftまたは@frightを指定した場合、コマ幅をゼロにして前のコマに入ります。

画像も入る。拡張しても基本はMarkdownだから



=====

@雪 「soreda ffull

画像も入る。拡張しても基本はMarkdownだから

@」

@アリス 「yatta fleft

すごーい

@」

@divend

@fwideと組み合わせるときは、fslimで埋める



ですよー



=====

@アリス 「doya fwide

@fwideと組み合わせるときは、fslimで埋める

@」

@雪 「soreda fright

ですよー

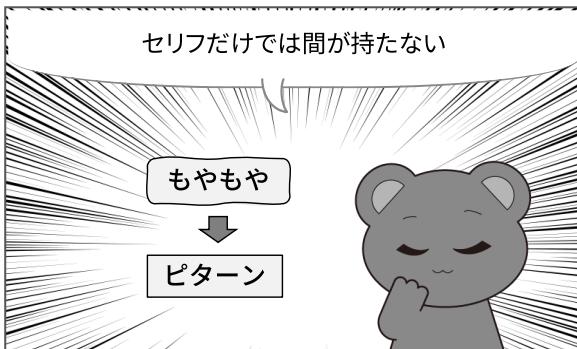
@」

@div:blank fslim

@divend

@divend

コマの隙間に図版を入れる



```
@雪「kohon fwide back001  
セリフだけでは間が持たない
```

```
@div:inlinefigure  
  
@divend  
  
@」
```

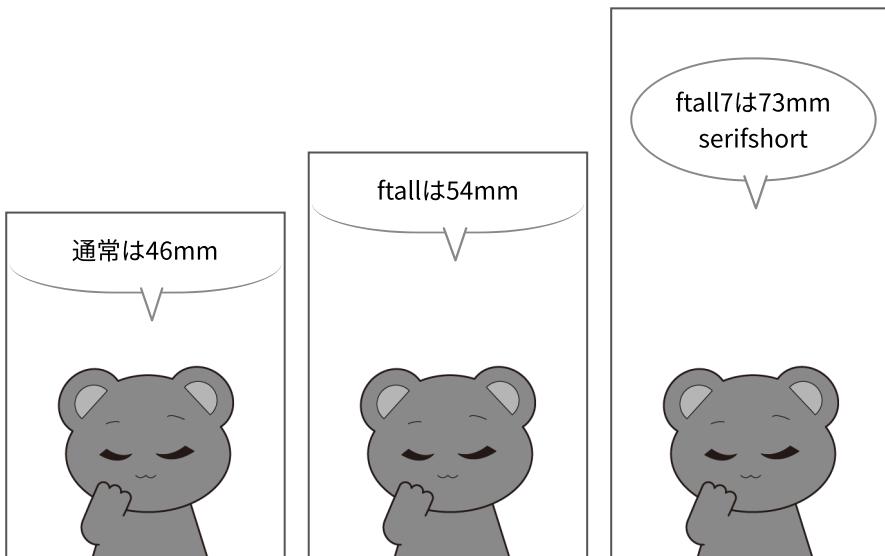
セリフの中に図版を入れた場合、普通なら吹き出しの中に入ります。それを@div:inlinefigure～@divendで囲むと、絶対配置 (position:absolute) によって外に出します。

- 背景を透過する必要があります。
- 図版の位置とサイズはMDBPのsvgimg指定で指定します。

```
?svgimg=拡大率,幅,高さ,xシフト,yシフト
```

高さの指定

どうしてもコマがうまく入らないときに使うftallという指定があります。



@雪 「kohon fslim ftall

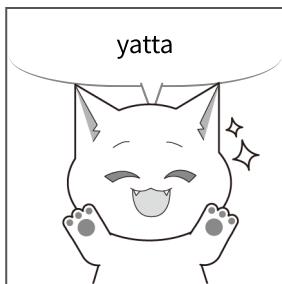
ftallは54mm

@」

指定	高さ
ftall	54mm
ftall7	73mm
ftall40	40mm
ftall43	43mm
ftall48	48mm
fshort	37mm

表情パターンと指定

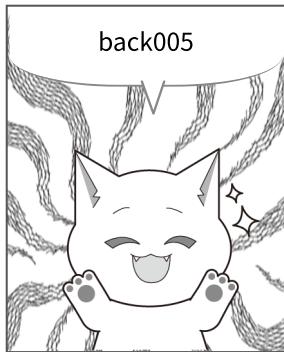
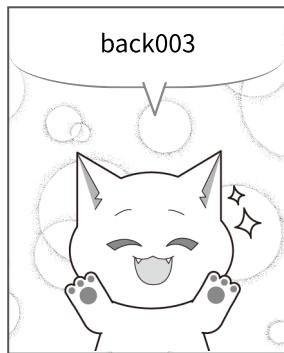
◆アリス

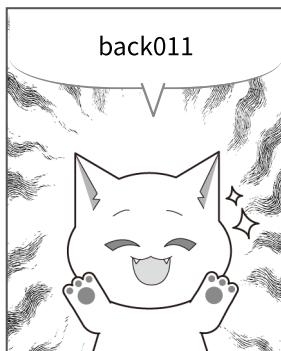


◆雪



背景設定





Column

特殊指定

<sp>（実際には半角で入力）という擬似タグで、6mmの空きを作ることができます。格好悪いですが、吹き出しの文字の位置を微調整するために使います。

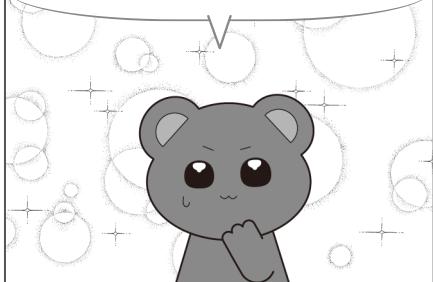
@frame:blankは空きのコマ（枠線なし）を入れます。マンガのコンテナは均等空き設定なので、コマが足りないときは空きのコマで詰め物します。

背景設定（幅広版）

back001



back002



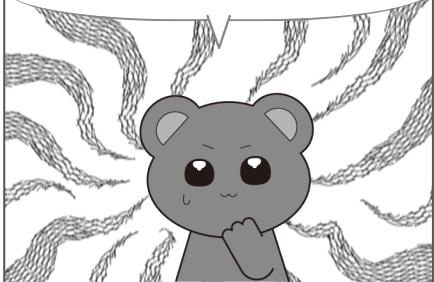
back003



back004

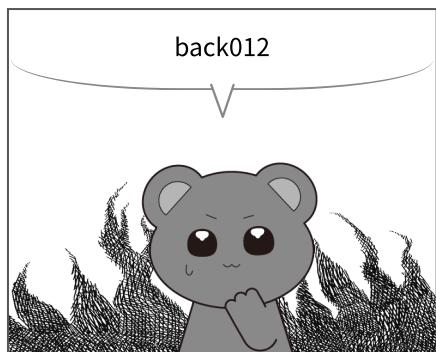
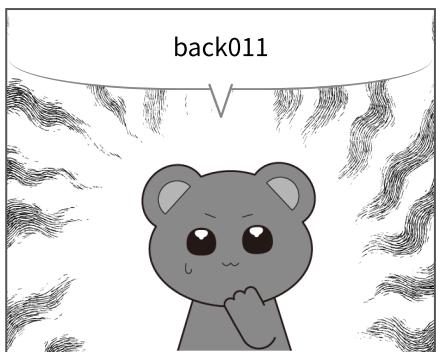
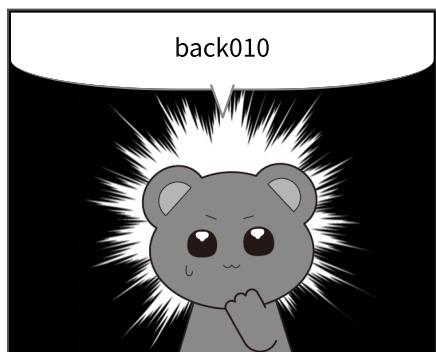
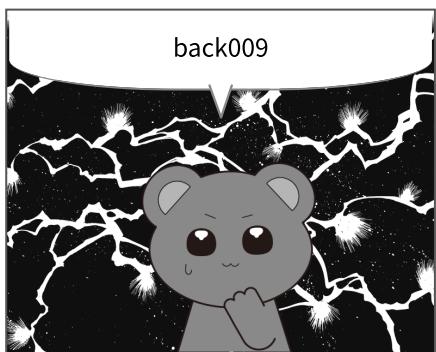
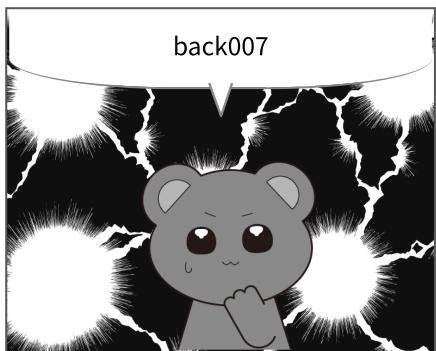


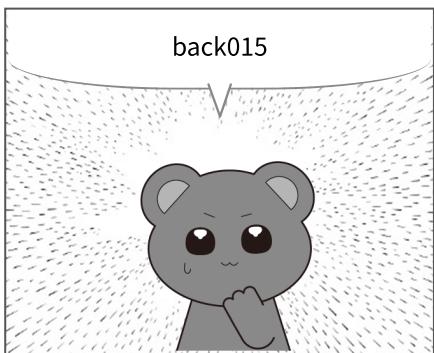
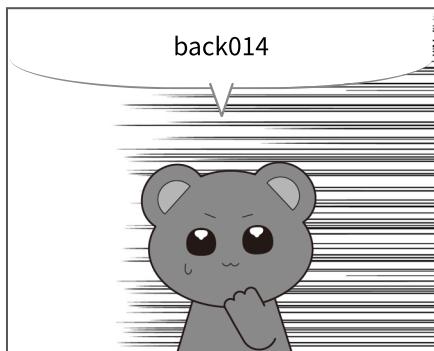
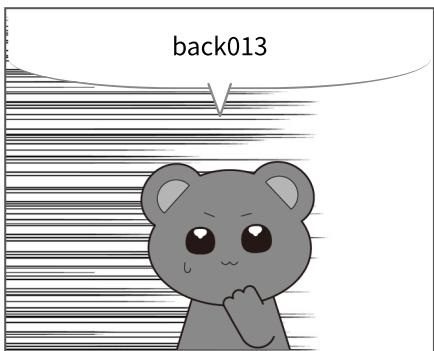
back005



back006







セリフが長いとき

たいていの場合、先生役のセリフは長く、生徒役のセリフは短いです。セリフを左寄せ (hidariyose) にして改行位置 (br) で調整します。



たいていの場合、先生役のセリフは長く、生徒役のセリフは短いです。セリフを左寄せ (hidariyose) にして改行位置 (br) で調整します。



@雪 「anone hidariyose

たいていの場合、先生役のセリフは長く、生徒役のセリフは短いです。セリフを左寄せ (hidariyose) にして
改行位置 (br) で
調整します。

@」

会話



たいていの場合、先生役のセリフは長く、生徒役のセリフは短いです

そうなんだよね。だから右寄せ



でも生徒が長いセリフをしゃべることもあるわけで、その場合、右寄せだと変なことに



仕方がないので左寄せ指定を加えます。これを指定すると左寄せになるので



会話は墨付きカッコ（【】）の中にキャラと表情指定を書きます。複数段落にすることはできません。

【雪kohon】たいていの場合、先生役のセリフは長く、生徒役のセリフは短いです

【アリスdoya】そうなんだよね。だから右寄せ

【アリスdoya】でも生徒が長いセリフをしゃべることもあるわけで、その場合、右寄せだと変なことに

【アリスdoya hidariyose】仕方がないので左寄せ指定を加えます。これを指定すると左寄せになるので

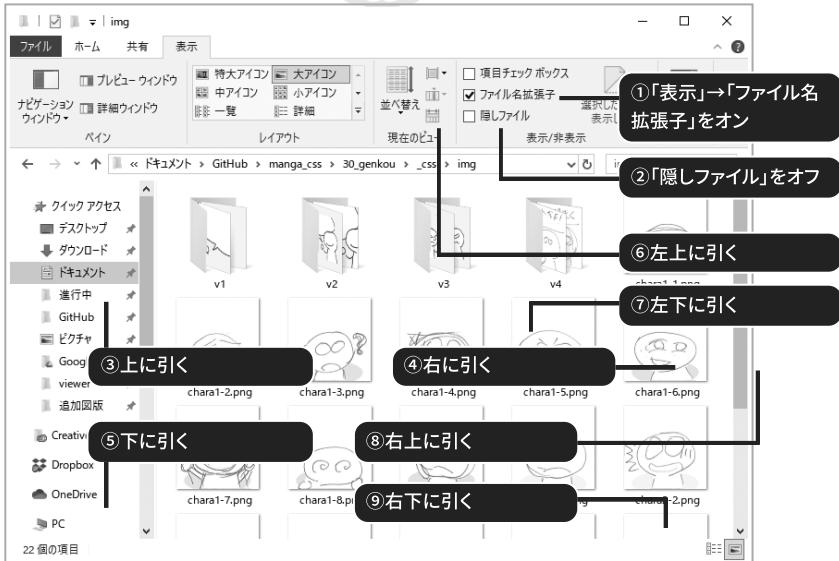
hidariyose + kwhfなんて指定もあります。会話ハーフ



操作手順



操作手順解説用に、引き出し線を引けるようにしました。



```
@div:figure
! [](img0/mangaparts.png?svgimg=35)
- ①「表示」→「ファイル名拡張子」をオン@ls8@90,9
- ②「隠しファイル」をオフ@lu16,7@90,20
- ③上に引く@us6@20,45
- ④右に引く@rs8@60,45
- ⑤下に引く@ds6@20,55
- ⑥左上に引く@lu24,17@90,30
- ⑦左下に引く@ld12,4@90,37
- ⑧右上に引く@ru24,10@55,55
- ⑨右下に引く@rd12,4@55,63
```

```
@divend
```

@div:figure内にリストを書くとそれが囲み文字になります（@は実際は半角に）。



リストの最終行のあとは必ず1行空けてください。空きがないと、そのあとの@divendと同じ行と見なすので、おかしなことになります

その位置と引き出し線を指定するのが、リストの末尾の@ls～～～の部分です。lsはleft straightの略で、左にまっすぐを意味します。luはleft up（左上）、ldはleft down（左下）です。上下左右の8パターンがあります。

@lsのあとに引き出し線の長さを指定する数値を書きます。そのあと@のあとに数値は囲み文字の位置指定です。すべて単位はミリです。

書式

@ls長さ @X位置 , Y位置

@lu長さ X, 長さ Y @X位置 , Y位置

ミリ指定なので、指定後に画像サイズが変わると大変なことになるよ

